



# インターネットを楽しく安全に利用するために

保護者のための情報

2006年

兵庫県インターネット安全安心利用推進協議会

(6月29日兵庫県インターネットプロバイダー連絡協議会から名称変更)

協力 兵庫県警察本部生活安全部生活安全企画課

日本アイ・ビー・エム(株)社会貢献

地域インターネット放送局117ブロードバンドTV

地域のために活動されている団体の皆様に！

皆様と同じか少し余分にITに関する経験をしている団体です。

限られたメンバー構成ですが、時間の許す限り、団体の皆様の会議で  
疑問に感じるインターネットのサイトを  
実際にみていただきます。（約30分、ノートPCに組み込み）  
添付お話が可能です。（約1時間）

連絡先：兵庫県インターネット安全安心利用推進協議会

事務局：兵庫県警察本部生活安全企画課サイバー犯罪対策係

電話：078-341-7441

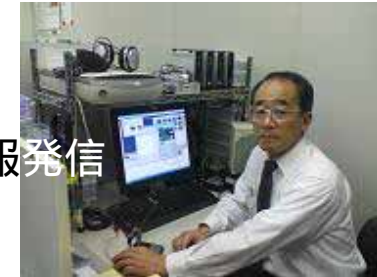
ご説明担当者紹介： 三好 成明

昭和21年・東京葛飾区柴又生・昭和46年IBM入社

平成7年1月17日阪神淡路大震災被災

平成8年1月17日ワープロインターネット神戸設立・神戸から情報発信

平成11年IBM退職・経営に専心



平成12年兵庫県インターネットプロバイダー連絡協議会設立・同会長

平成13年NPO法人IT還暦会設立・同副理事長（平成15年退任）

平成13年関西IT戦略会議・ITアドバイザー就任（平成15年退任）

平成16年地域ボランティア放送局『117ブロードバンドTV』開局同代表

たくさんのITを仕事としてめざす若者とお付き合いした経験！  
たんさんのPCおたくとお付き合いした経験！

岡田 尊司  
医療少年院勤務の精神科医

復興10周年の行事をファインダーをとおして

いきいきと、社会貢献をしている元気な青少年がいる事。  
震災後の『絆』を大切に、社会貢献をしている団体が  
活発に活動している事。

日野原新老人の会会長、高木生と死を考える会会長、  
柳田邦夫先生、中川元上野動物園園長様等のたくさんの  
大先輩の講演等から勉強した事。



保護者の子供のころを思い出して  
聞いて下さい！

保護者がインターネットと青少年の  
かかわりを理解し、指導力を高める  
必要があります。

以下の情報はIBMから提供されています。

IBMでは、以下の情報をあくまでもインターネットの  
安全について考えていただくきっかけとしてご提供して  
います

青少年がインターネットを安全かつ楽しく利用できる  
ようにするために他にどのような情報源が必要かは、  
皆様にご判断いただく必要があります。

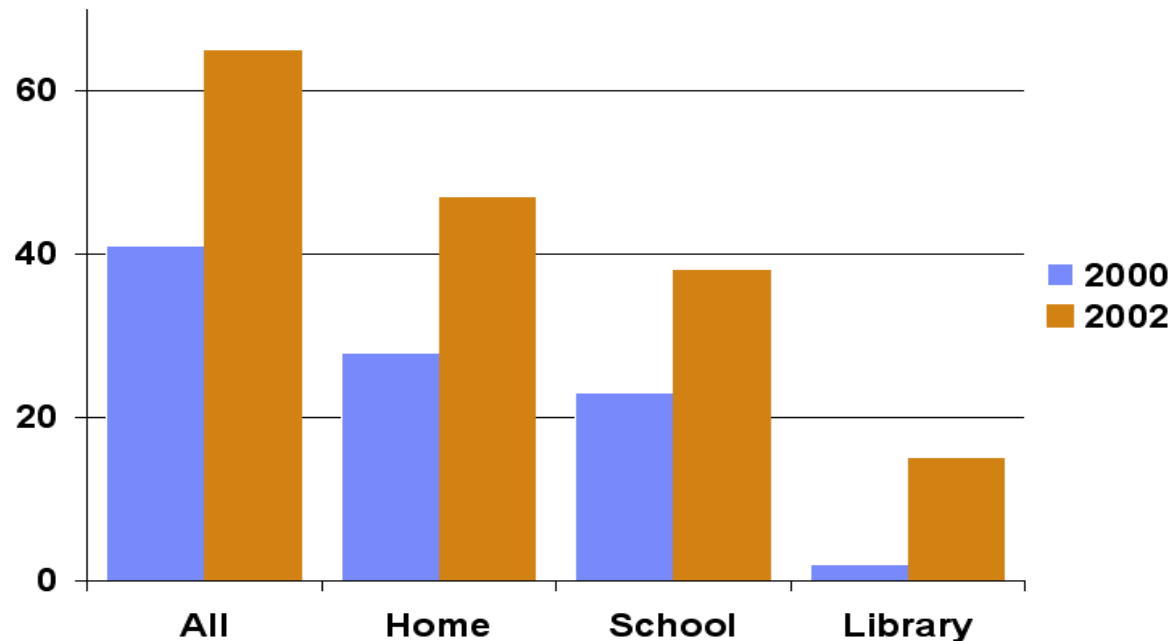
そのために必要なものとは！

新しい技を少々（難しいコンピュータ技術は必要ありません！）  
古くからの常識



## 子供たちのインターネットへのアクセス状況

2000年から2002年にかけて、子供たちがインターネットにアクセスする機会は、収入や年齢に関係なく増加している。最大の伸びは家庭での利用。



Corporation for Public Broadcasting の「子供のインターネット利用に関する報告書」からの引用



## インターネットにこれほど 人気がある理由

インターネットでユーザーができる  
こと:

- 最新のニュースを集められる
- 瞬時にメールを送れる
- あらゆる内容について調べられる
- 楽しみを見つけられる
- 商品やサービスを購入できる

**事実:** 保護者の 83% は、インターネットの教育上の価値やその探究心を刺激する性質ゆえに、子供がインターネットを使用することに満足していると答えている。



## インターネットの真の危険性

- 児童犯罪者や小児性愛者
- ネット上での情報操作およびサイバーいじめ
- 個人情報の盗難
- ウィルス、ワーム、トロイの木馬



## 保護者と子供の見解の違い

### 保護者の見解

- 90% は、子供たちがインターネットで何をしているか、十分に把握できていると感じている。
- 92% は、子供のインターネット使用についてルールを設けていると答えている。
- 54% は、子供を監視し、インターネット上の不適切な内容から守る能力が不十分だと感じている。

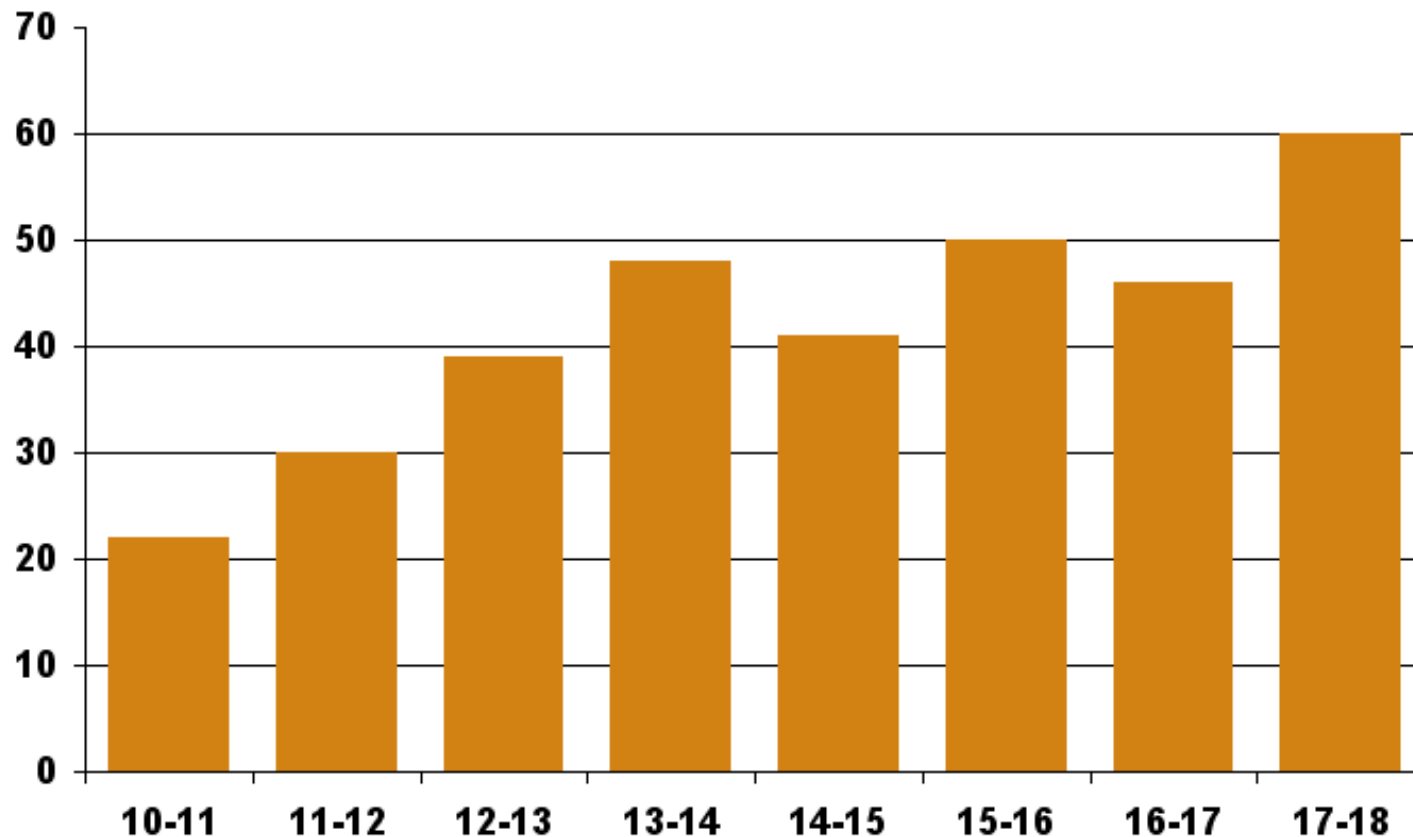
### 子供たちの見解

- インターネットで何をしているかについて、保護者に話していると答えたのはわずか 66%。
- 保護者がインターネットの使用についてルールを設けていると答えたのはわずか 65%。
- 53% は、ネット・サーフィンするときは 1 人のほうがいいと答えている。

**回答した児童、生徒の 14% は、自分達がインターネットでどこにアクセスし、何をしているかを、保護者はまったく把握していないと答えている。**



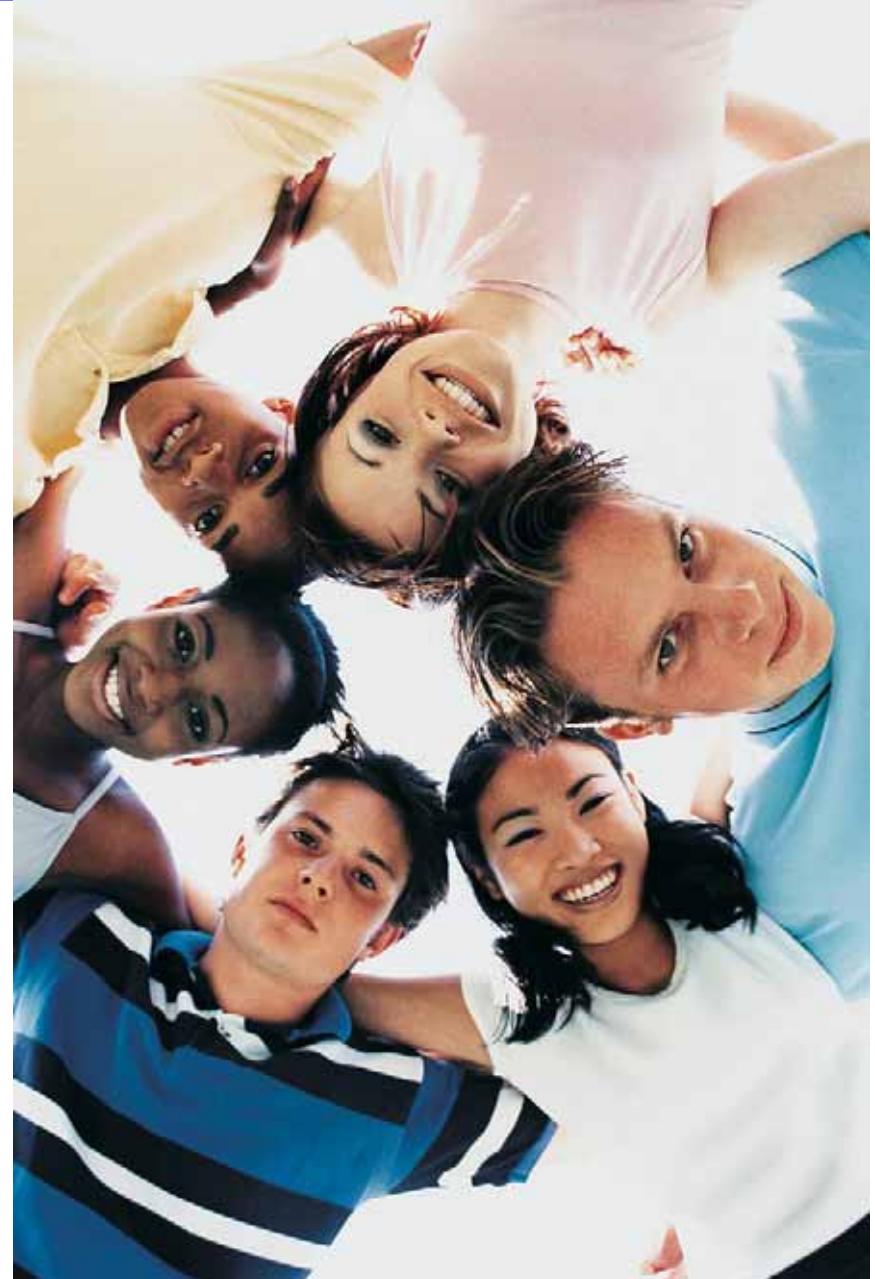
## 「両親には、自分がインターネットで何をし、どこにアクセスしているかについて話していない」



出典: i-SAFE による 241,090 名の児童/生徒と保護者を対象とした調査 (2003 ~ 04 年)

## 何が問題となるのか？

- 課題: 保護者と子供との間の「デジタル・ディバイド」を小さくすること。
- 運転の仕方を教える前に子供に運転させるだろうか？
- インターネットでは、身の守り方を身につけていない子供たちが不必要に危険を冒している。



## 児童犯罪の被害者: 13 才のキャリー\*

### 実際にあった話

- 優秀な学業成績 - 「オール A」の生徒
- 非常に人気者
- チアリーダー・チームのキャプテン
- 幸せで明るく、適応力のある少女に見えた

**事実:** ネット上での性的勧誘の 66% は少女を狙ったもの。



\* プライバシーを守るため、名前は変えています。

## 青少年やインターネットについて明らかになったこと

7% は相手に直接会う**意思がある**。

**事実:** 青少年は技術の利用に精通しており、多くの場合、大人よりも理解が早く経験が豊富。

**事実:** 青少年は無制限のインターネット・アクセスを手にすることができる。

**事実:** 性的な勧誘を受けた青少年のうち、保護者や責任ある大人にそれを伝えたのは 25% に過ぎない。

*Crimes Against Children Research Center –  
「ネット上の児童犯罪: 全国の青少年に関する報告書」*



## グルーミングのプロセス

### 第一段階：親近感を抱かせる

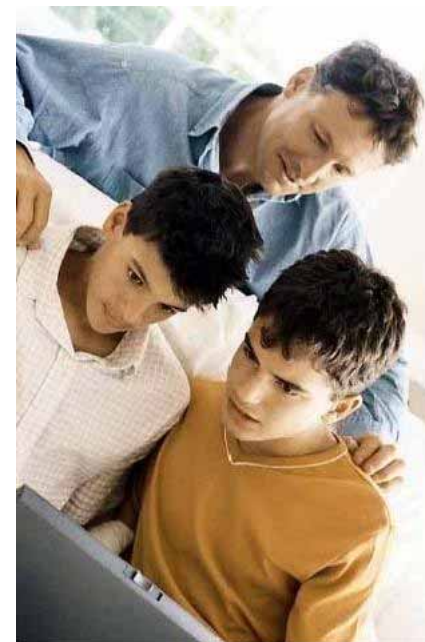
児童犯罪者は、本当の身分や関係作りの動機を偽る。  
児童犯罪者はプロフィールやチャット・ルームでの会話から得た情報を利用して次のような行動をとる。  
標的となる子供と共通の関心があるふりをする。  
警戒心を解き、好意を抱かせ、安心感、親近感を与える。

### 第二段階：信頼関係を築く

子供の公開されたチャット・ルームで定期的なやりとりをし『友達』になる。  
保護者と子供の自然な摩擦を体系的に利用する。  
家庭内の争いについて、犯罪者は常に子供の考え方を支持する。  
子供が自分を唯一の理解者だと思い込むように仕向ける。

### 第三段階：親密な関係を確立する

標的となる子供は、いつでも『信頼している』チャット仲間を登録する。  
犯罪者は、子供の個人的なインターネット・アドレスや電話を入手する。  
子供は、保護者にはこの『特別な関係』が理解できないと思い込む。





## グルーミングのプロセス 第四段階：壁を取り除く

児童犯罪者は、子供を大人向けの会話に誘導する。  
子供の好奇心を利用して、よりいっそうの理解者になる。  
わいせつな写真等、その年代では禁止されている  
情報を送り、子供の自己防衛能力を段階的に鈍らせる。  
標的となる子供は、大人の経験をしてよい時機になったと  
信じ始める。



## 第五段階：直接的に脅す

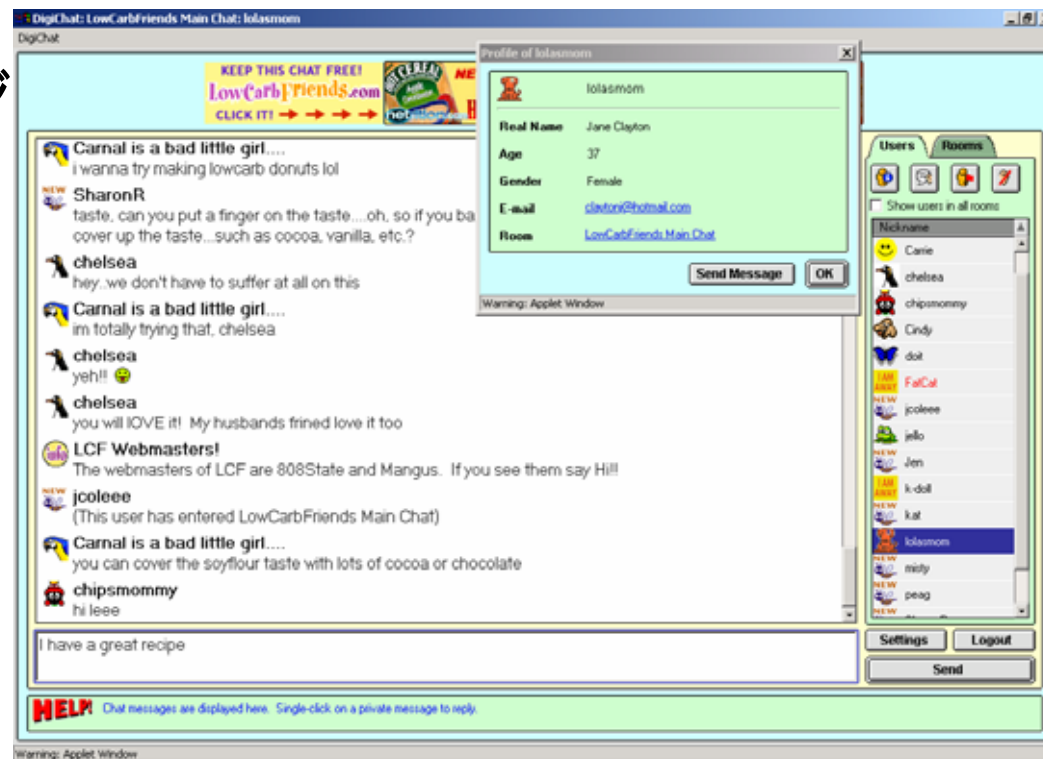
犯罪者は、子供が保護者に対して感じている供心の  
距離を利用して脅す。  
違法な内容のものを受け取った事により、恐喝される恐れもある。  
犯罪者は、暴力や屈辱を利用した徹底的な脅迫も可能。  
子供に、大人や当局に支援を求める勇気がない事を見抜く。

## 第六段階：最終段階。直接会う。



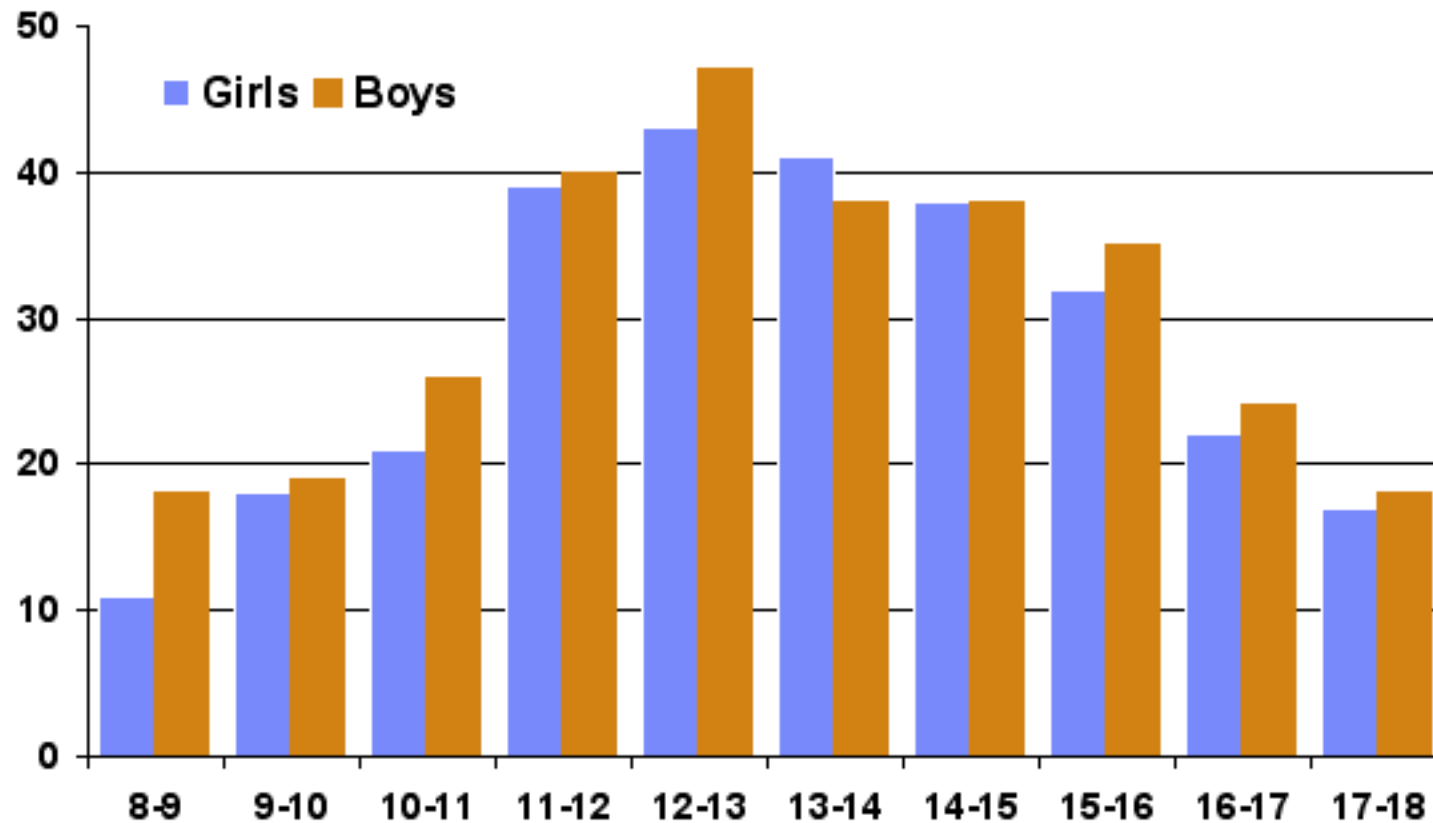
## 「グルーミング」の発端となる場所

- 勧誘の全体の 3 分の 1 はチャット・ルームで起きている。
- 24% は  
インスタント・メッセージ  
経由で送られている。
- 被害者の  
77% は  
14 ~ 17 才。



出典: 米国司法省 OJJDP Fact Sheet (2001 年 3 月)

## 「チャット・ルームを利用している...」



出典: i-SAFE による 241,090 名の児童/生徒と保護者を対象とした調査 (2003 ~ 04 年)

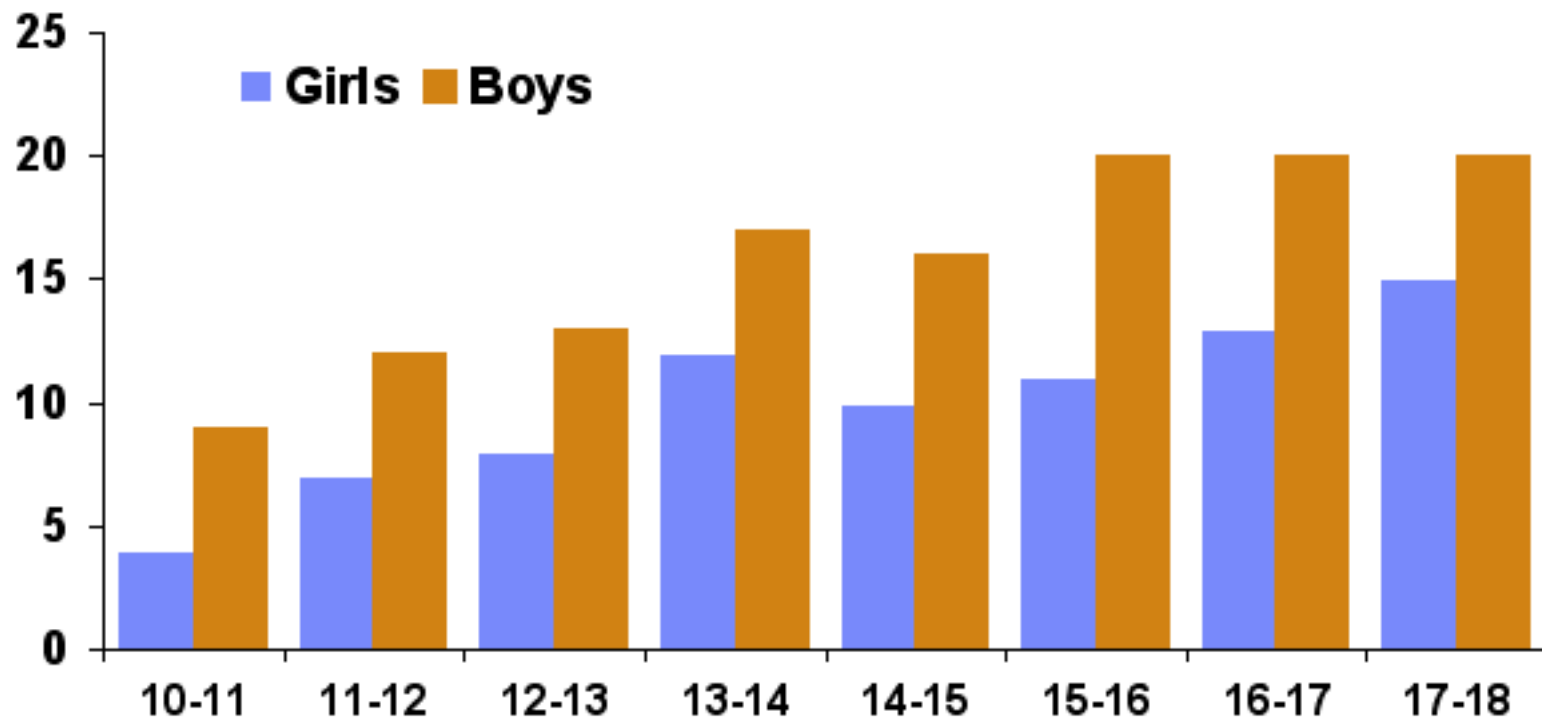
## チャット・ルームの利用登録

- 登録プロセスでは、「プロフィール」を作成するための個人情報が求められる。
- 犯罪者はこれらのプロフィールを利用して被害者をおびき寄せ、特定する。
- チャット・ルームのニックネームも被害者をおびき寄せて特定するのに役立つ。

The image shows three overlapping screenshots of a web registration form. The top screenshot shows the main registration page with fields for Sex, Birth date, Rate, Security Question, and Your Answer. The middle screenshot shows a 'Describe Yourself/About Me' text area. The bottom screenshot shows a 'Your Turn Ons/What You Like' and 'Your Turn Offs/What You Don't Like' text area. The form is titled 'More Useful Everyday' and includes a search bar and a 'Go' button.



## 「インターネットで知り合った人と直接会ったことがある」



出典: i-SAFE による 241,090 名の児童/生徒と保護者を対象とした調査 (2003 ~ 04 年)

## サイバーいじめ

- 現代社会では、いじめは遊び場だけに止まるものではなくなっている。
- 最近の i-SAFE America のデータによれば:
  - 児童の 15% はインターネットを使用中に悪意のある、または脅迫的なメッセージを受け取った経験がある。
  - 6.5% はインターネット上でいじめられたことがあると答えている。
  - 81% は、青少年をいじめから守るルールがもっと必要だと感じている。





あらゆる事が簡単にしらべられる  
最新のニュースを集められる

目的のものだけを簡単に探すことの出来る優れた道具  
ネット検索作業のみ 思考の停止  
探せたという満足感！

探すための実世界の体験行為がなくなる  
どのようにして探すかを考え、工夫する！  
探すまでいろいろな他の情報にふれ、知識が広がる！  
目的以外の情報にふれて考え、判断する機会！



インターネットの環境がある + 習った + 自由にいくらでも利用できる  
ちょっとインターネットを利用して、ゲーム情報を調べてみよう！



学校でゲームの話をしたら、久々に友達が集まってきた！  
結構インターネットは面白い 大量のアドレナリン 楽しい

調べる内容がだんだんエスカレート！  
危険な情報にふれはじめる！  
親は無関心、忙しいからPCで！



ネットの世界に満足！  
ネットは万能！ ネット信奉者  
ネット以外の事に興味をしめさない！



インターネットを利用して青少年の心にイタズラ！  
反応を見て楽しむ人  
インターネットを利用して犯罪の罠をしかけ、  
金儲けを企む人



快い世界に反応！  
どうせネット上の事と安心して、危険な事を！  
相手を信用して個人情報を含めて発信！



興味をひくため、現実の社会と乖離した、  
快い世界！の演出



ネットに対する考え方（私の考え方）

子どもハザードマップ

『安全・安心のまちづくり』の活動にとって大切な情報

有識者といわれる人から、一言！

インターネットで多くの人に伝えよう！

誰が見るのか！

誰に見て欲しいのか！

誰に見られてはこまるのか！

なんとなく納得できないがインターネットの事はよくわからない

地域の安全活動は地域コミュニティーの『信頼の輪』を作り上げていく活動！

情報を伝える行為をとおして、

地域のまとまりとコミュニケーションする力を

地域に与える事に意義がある！



チャット・ブログに参加  
する事がなく暇だ！  
あまり友達もいない！  
何か趣味を持つ気もない！  
返事を書くとすぐに沢山の返事がかえってくる  
気に入らなければ無視！  
(コミュニケーションの逸脱した世界)



インターネットの環境がある + 習った  
自由にいくらでも利用できる  
面白そうだからチャット・ブログに自分の意見を！  
すぐに返事がかえってきた！  
また、意見を送った！ またすぐ返事が！  
私を理解してくれる人がいる。 ネット上に仮想の友達  
ネット上のことだから、ちょっと脚色！  
ホットする空間がはじめて出来る。  
空想の自分と空想の相手！



関係はだんだんエスカレート！  
理解してくれるから個人情報も！  
事実とは異なった特別な関係！



ネットの世界に満足！  
ネット以外の事に興味をしめさない！





インターネットを良く利用！  
出会い系サイトに問題がある事は知っている。  
瞬時に大量のメールを送れる 繰り返しの送られてくる  
出会い系サイトへ返事

ネット上のこと、しつこく誘ってくるのでちょっとイタズラ！

完全無料でご近所さんを探しませんか？  
エントリーからメール送受信を含めて全て無料です。

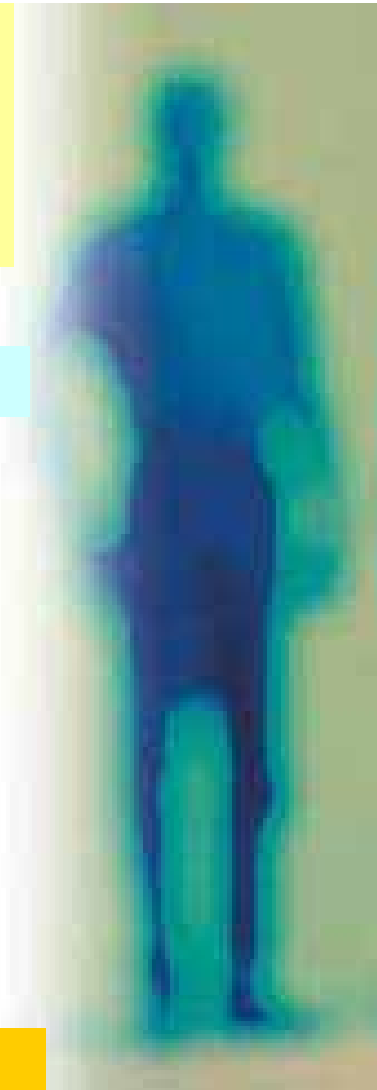
彩香 27歳 OL  
題名：ただそれだけって...  
はっきり言って欲求不満です。ただそれだけって駄目なのかな？  
癒されたいし癒してほしいです。こういう女って引かれちゃうのかな...。  
週末時間あるから連絡欲しいです。

<http://yaii.net/htm>

ミサキ 34歳 主婦  
題名：一応既婚者ですけど...  
サイト面倒だし、会ってお話出来るかなあ？  
出来れば今日がいいんですけど...  
一応既婚者ですけど夫からは見放されてますから...。  
秘密厳守出来る人お願いします。

<http://yaii.net/htm>

ネット上のワナ



## 家庭での使い方のヒント

子供のインターネット利用を一緒に楽しむ。

例) 明日のレジャーの下調べ等一緒に検索して家族のコミュニケーションの道具。

実体験、音楽やスポーツを必ず進めて、『汗』をかく事とのバランス。

親の時間の都合で『おもちゃ』感覚で利用させない。利用時間をきめる。

ほんとうに、青少年のインターネットに個人メールは必要か！

メールを開放するときのルール、メールは家族のだれでも見るてもよいルール！

メール・アドレスは家庭内では公開！

見知らぬ人はリストに入れない！

家族の誰もが画面を見られるような場所にPCを設置する。

子供部屋等孤立した場所にPCはおかない。画面が隠れていない事！

インターネットの先にはいろいろな人がいる。その中には、犯罪者が沢山いる。

無料の・・・！ 相談・・・！ 等、優しい誘いをして来るホームページ！

インターネットの相手と何かをする時は『親』の許可をのクセ！

・・・研究所、ソーシャル・・・協会等十分に『親』も注意！

知らない相手に個人情報には明かさない！

当選しました、商品をお送りしますのでとの誘いで、住所や家族情報を！絶対ダメ